



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月7日

上場会社名 株式会社A & Dホロンホールディングス 上場取引所 東
コード番号 7745 URL <https://andholon.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 森島 泰信
問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 (氏名) 高橋 浩二 (TEL) 048-593-1590
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月4日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	29,335	8.0	3,163	73.2	3,411	52.8	2,150	46.7
2023年3月期第2四半期	27,162	13.8	1,826	△14.4	2,232	△0.1	1,465	7.5

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 2,428百万円(△54.3%) 2023年3月期第2四半期 5,313百万円(221.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	78.30	78.23
2023年3月期第2四半期	53.43	53.38

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	71,153	34,453	48.3
2023年3月期	69,418	32,574	46.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 34,375百万円 2023年3月期 32,502百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
2024年3月期	—	15.00			
2024年3月期(予想)			—	20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,000	5.0	7,800	4.3	7,450	△2.5	5,110	△7.5	186.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料p.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	27,845,208株	2023年3月期	27,845,208株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	361,067株	2023年3月期	393,687株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	27,462,316株	2023年3月期2Q	27,430,231株

(注) 期末自己株式数および期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託制度の信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有している当社株式が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、ウクライナ情勢の長期化、欧米を中心とした金利・物価の上昇や中国経済の減速、為替変動による影響など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、中期経営計画(2022年度～2024年度)のもと、当第2四半期連結累計期間において、外部環境の変化に柔軟に対応するための各事業の取り組み強化やグループシナジー強化のための施策を実行してまいりました。特に成長ドライバーと位置付けている半導体関連事業においては、半導体市況自体の弱含みは続いているものの、当社グループ製品への需要は引き続き堅調であり、前年同期比大幅増収増益となりました。医療・健康機器事業においては、為替の影響が大きく前年同期比減収となったものの、原価低減や販管費抑制の取り組み継続により前年同期比増益となりました。一方、計測・計量機器事業は、特に海外の設備投資需要の低迷による影響が大きく、前年同期比減収減益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は29,335百万円(前年同期比8.0%増)、営業利益は3,163百万円(前年同期比73.2%増)、経常利益は3,411百万円(前年同期比52.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,150百万円(前年同期比46.7%増)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①半導体関連事業

受注は引き続き堅調に推移、受注残への遅延要請等も無く、製造・出荷ともに顧客要求に対応できたことにより前年同期比大幅な増収となりました。また、従来からの収益性に加え、生産性の向上とグループ調達による原価低減により前年同期比大幅な増益に繋がりました。

この結果、半導体関連事業の売上高は5,674百万円(前年同期比114.2%増)、営業利益は2,163百万円(前年同期比155.8%増)となりました。

②医療・健康機器事業

日本においては、病院向け看護用血圧計の需要が回復基調に転じたものの、大口顧客向け家庭用血圧計の需要一服により、売上は減少しました。利益については海外向け輸送費の削減により増加しました。

米州においては、引き続き米国での家庭用血圧計の需要が好調に推移し、大口案件を中心に売上が増加しました。また、輸送費の削減や製品ミックスによって利益も増加しました。

欧州においては、血圧計需要の回復に伴い、現地通貨建てでの売上は増加したものの、為替の影響により円換算後の売上、利益ともに減少しました。

この結果、医療・健康機器事業の売上高は11,173百万円(前年同期比1.6%減)、営業利益は2,203百万円(前年同期比11.9%増)となりました。

③計測・計量機器事業

日本においては、産業用設備投資が堅調に推移したことによって計測機器需要が増加、また、大型の試験装置の出荷も寄与したことにより売上、利益ともに増加しました。

米州においては、主力の計量機器特需があった前年度からの反動減の影響、及び設備投資需要の低迷から計測・制御・シミュレーションシステム(DSPシステム)が低調に推移し、売上、利益ともに減少しました。

アジア・オセアニアにおいては、中国における計測機器、インドにおける計量機器の需要低迷により、売上、利益ともに減少しました。

この結果、計測・計量機器事業の売上高は12,488百万円(前年同期比5.1%減)、営業利益は361百万円(前年同期比55.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は71,153百万円であり、前連結会計年度末に比べ1,735百万円増加いたしました。これは、主に現金及び預金の増加や商品及び製品の増加等により、流動資産が1,592百万円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は36,700百万円となり、前連結会計年度末に比べ143百万円減少いたしました。これは、主に短期借入金の増加等により流動負債が449百万円増加した一方、長期借入金の減少等によ

り固定負債が592百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は34,453百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,878百万円増加いたしました。これは、主に利益剰余金の増加により、株主資本が1,606百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,003	16,274
受取手形、売掛金及び契約資産	15,284	15,367
商品及び製品	8,941	9,843
仕掛品	5,047	5,194
原材料及び貯蔵品	6,278	6,260
その他	2,173	1,431
貸倒引当金	△67	△118
流動資産合計	52,660	54,253
固定資産		
有形固定資産		
土地	5,099	5,168
その他(純額)	7,168	7,271
有形固定資産合計	12,267	12,439
無形固定資産		
のれん	35	12
その他	1,433	1,362
無形固定資産合計	1,468	1,374
投資その他の資産	3,021	3,086
固定資産合計	16,757	16,899
資産合計	69,418	71,153
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,971	5,248
短期借入金	14,731	15,664
1年内返済予定の長期借入金	2,118	1,630
未払法人税等	1,515	1,123
賞与引当金	1,398	1,424
製品保証引当金	212	291
その他	6,254	6,268
流動負債合計	31,202	31,652
固定負債		
長期借入金	3,292	2,658
役員退職慰労引当金	-	122
製品保証引当金	54	75
退職給付に係る負債	1,064	1,062
役員株式給付引当金	92	82
その他	1,135	1,045
固定負債合計	5,640	5,047
負債合計	36,843	36,700

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,388	6,388
資本剰余金	8,319	8,319
利益剰余金	19,142	20,738
自己株式	△172	△162
株主資本合計	33,677	35,283
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31	34
為替換算調整勘定	△1,250	△961
退職給付に係る調整累計額	43	19
その他の包括利益累計額合計	△1,175	△907
非支配株主持分	72	77
純資産合計	32,574	34,453
負債純資産合計	69,418	71,153

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	27,162	29,335
売上原価	15,965	16,503
売上総利益	11,197	12,832
販売費及び一般管理費	9,370	9,669
営業利益	1,826	3,163
営業外収益		
受取利息	94	109
為替差益	353	293
受取地代家賃	24	24
その他	64	73
営業外収益合計	537	500
営業外費用		
支払利息	106	202
その他	24	49
営業外費用合計	131	252
経常利益	2,232	3,411
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産除却損	0	8
投資有価証券評価損	4	-
特別損失合計	5	8
税金等調整前四半期純利益	2,227	3,404
法人税、住民税及び事業税	955	1,245
法人税等調整額	△198	△0
法人税等合計	756	1,244
四半期純利益	1,470	2,159
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,465	2,150

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,470	2,159
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	3
為替換算調整勘定	3,894	289
退職給付に係る調整額	△46	△23
その他の包括利益合計	3,842	268
四半期包括利益	5,313	2,428
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,301	2,418
非支配株主に係る四半期包括利益	11	10

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IAS第12号「法人所得税」の適用)

国際財務報告基準を採用している在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間の期首よりIAS第12号「法人所得税」(2021年5月改訂)を適用しております。この適用により、取引時に同額の将来加算一時差異と将来減算一時差異を生じさせる取引に関する当初認識時の会計処理が明確化され、当該将来加算一時差異と将来減算一時差異について繰延税金負債及び繰延税金資産が四半期連結貸借対照表にそれぞれ認識されます。

なお、当該会計方針の変更による、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
税金費用の計算	一部の連結子会社では税金費用について、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	半導体関連事業				
	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	計
売上高					
外部顧客への売上高	2,648	—	—	—	2,648
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,648	—	—	—	2,648
セグメント利益又は損失(△)	845	—	—	—	845

	医療・健康機器事業				
	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	計
売上高					
外部顧客への売上高	2,791	4,296	4,026	245	11,359
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,454	0	0	4,676	10,132
計	8,246	4,296	4,026	4,922	21,492
セグメント利益又は損失(△)	1,219	△29	527	252	1,969

	計測・計量機器事業					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,002	3,118	470	2,562	13,153	—	27,162
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,949	211	0	1,653	3,815	△13,948	—
計	8,951	3,329	471	4,216	16,969	△13,948	27,162
セグメント利益又は損失(△)	76	370	52	317	817	△1,805	1,826

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,805百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△873百万円及び報告セグメント間の取引における棚卸資産の未実現利益消去△927百万円が含まれております。全社費用は、主に管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	半導体関連事業				
	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	計
売上高					
外部顧客への売上高	5,674	—	—	—	5,674
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,674	—	—	—	5,674
セグメント利益又は損失(△)	2,163	—	—	—	2,163

	医療・健康機器事業				
	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	計
売上高					
外部顧客への売上高	2,555	4,561	3,877	178	11,173
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,829	0	9	4,109	9,949
計	8,385	4,561	3,887	4,288	21,123
セグメント利益又は損失(△)	1,395	276	284	246	2,203

	計測・計量機器事業					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,835	2,006	287	2,358	12,488	—	29,335
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,334	182	—	1,366	2,883	△12,833	—
計	9,170	2,189	287	3,724	15,371	△12,833	29,335
セグメント利益又は損失(△)	185	26	△34	184	361	△1,566	3,163

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,566百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△874百万円及び報告セグメント間取引における棚卸資産の未実現利益消去△718百万円が含まれております。全社費用は、主に管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。